

9年目の「紅葉の森」で間伐!

●元気に楽しく、気持ちを込めて!

今日23は「浦高百年の森・間伐作業」でした。春日部市を7時30分に車でスタートし、北本市から吉見町へ荒井橋で荒川を渡ったのですが、快晴の



空の下、秩父連山が目の前に広がり、左手にはくっきりと冠雪を頂いた富士山が見えました。吉見町からは荒川右岸を走り、寄居町風布の森には9時30分に到着しました。そこで私たちを迎えてくれたのは、青空に映える紅葉真っ盛りのモミジでした【写真①】。

10時、体験の森で全員が集合し、小室・森委員長(同窓会副会長)から「皆さん、おはようございます。百年の森も9年目を迎え、これだけ立派に育ちました。この木々が材木として使える100年まで92となりました。人間にも輪廻があるように、森も300年位で輪廻すると言われています。森を次の世代に残すために、今日も元気で楽しく、そして気持ちを込めて間伐の活動をしましょう。それと嬉しい事に、ラグビー部が54年ぶりに花園に行くことになりました。ぜひ、ご支援をお願いします。」とのご挨拶が...



続いて杉山・浦高校長からは「私にとっては2回目の森ですが、元気に活動をしたいと思います。」との挨拶の中で、3日の古河競歩大会などなど現役高校生達の活躍の様子が紹介されました。【写真②】

さらに、林・浦和一女麗風会会長からは、麗風会から43名が参加されていることや育樹祭での埼玉県緑化等功労賞に「浦高百年の森」が選ばれたことなどが披露されました。【写真③:感謝状】



10時15分、それぞれの担当毎に分かれて作業に取りかかりました。9回生の1・2班は“体験の森”から南側下り斜面の木々の枝打ちと除伐でした。11回～18回生の3班は作業路補修とゲート補修でした。そして、私の入った19回以降の4班はスギ林での間伐、枝打ちでした。現役高校生と教職員の5班はヒノキ林で間伐と枝打ちでした。PTAの皆さんの6班は“体験の森”で刈払とつる切でした。



スギ林は樹高が8mを超え、下草に陽が入らないほどに密集していましたが、約1時間半の手入れ

でしっかりと陽が差し込む林に変貌しました。【写真④:手入前、⑤:枝打ち中、⑥:手入後】



11時50分、スギ林の手入れを終えて“体験の森”に戻り、昼食です。今日も綿貫さん(14回)達が作ってくだ

さったきのこなどの具沢山の豚汁が待っていてくれました【写真⑦】。12時40分、昼食を終え、浦高OBたちと麗風会の皆さんを交えて参加者全員で記念撮影です【写真⑧】。はい、チーズ!



ここで麗風会の皆さんとはお別れし、浦高OBの



皆さんは、山を下りて宮下幸子さん(“百年の森”の地主さん)のみかん園でミカン狩りを楽しみました【写真⑨】。今回も、元気に楽し

い一日を過ごすことができました。帰りは釜伏峠を抜けて「秩父高原牧場」に寄って帰宅しました。春日部地区からは5人が参加しました。【写真⑩】

